

降下ばいじん、加古川製鉄所 自主管理目標値（環境対策効果の予測値）未達成について

加古川製鉄所では、08年4月から粉塵対策の効果を確認するため、降下ばいじんに関する自主管理目標値（環境対策効果の予測値）を製鉄所影響値 3.0t/km²/月以下（対象測定地点：加古川神鋼ビル、別府小学校、尾上小学校の3箇所）に設定し、その達成に注力して参りました。

しかし、このほど纏まりました8月の実績値においても加古川神鋼ビルが未達成となり、本年度に入り5月、7月、8月で自主管理目標値超過となりました。この結果を重く受け止めるとともに、これまで調査してきました内容と今後の対策についてお知らせ致します。

地域住民の皆様には大変ご迷惑をお掛けすることとなりましたことを、深くお詫び申し上げます。

<加古川製鉄所 製鉄所影響値 10年度実績推移>

測定地点	単位	4月	5月	6月	7月	8月
加古川神鋼ビル	t/km ² /月	1.43	3.12	2.75	3.14	3.91
別府小学校	〃	0.86	1.88	1.26	1.99	1.78
尾上小学校	〃	1.14	1.73	0.88	0.69	0.85

(出所：加古川市測定データ)

<加古川神鋼ビル 製鉄所影響値(不溶性降下ばいじん) 成分>

成分項目	単位	10年8月
鉄分(Fe ₂ O ₃ 換算)	t/km ² /月	0.50
強熱減量(植物・コークス・石炭成分など)	〃	1.16
その他(土砂成分など)	〃	2.25
合計(製鉄所影響値)	〃	3.91

(出所：加古川市測定データ)

加古川市測定データに基づき、その他(土砂成分など)分の発生源を調査してきましたが、原因を特定できておりません。引き続き調査を行ってまいります。

5月の目標未達成の結果を加古川市より受領した時点から、緊急パトロールや発塵状況の調査を実施してきました。加えて06年より取り組んできた粉塵対策の効果を検証しております。これらの結果に弊社の降下ばいじん測定データもふまえ、鉄分と強熱減量に対しても効果的な粉塵対策を追加実施するべく、集塵機の増強など設備的な対策を検討してまいります。

これまでのパトロールにおいて、設備や操業の異常を確認しておりませんが、本年夏のような特異的な気象条件(高温・南風頻度の上昇など)におきましても、自主管理目標値を達成できるよう、関係機関や学識者のご協力とご指導を頂きながら対策を進めてまいります。

※参考値：神戸製鋼所測定 加古川神鋼ビル不溶性降下ばいじん成分比率(10年5～8月平均)

成分項目	比率
鉄分(Fe ₂ O ₃ 換算)	34%
強熱減量(植物・コークス・石炭成分など)	39%
その他(土砂成分など)	27%
合計	100%

(出所：神戸製鋼所測定データ)

<尾上善則 (株)神戸製鋼所 常務執行役員 加古川製鉄所長 コメント>

本年度も降下ばいじんに対する所員の意識を低下させることなく、またこれまで設置してきた粉塵対策設備の維持向上に取り組んできました。しかし、5月、7月、8月において自主管理目標値を超過させてしまいました。大変申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

現在検討中の粉塵対策を実施していくことにより、降下ばいじんの低減に引き続き取り組んでまいります。

<石川邦夫 関西熱化学(株) 取締役 加古川工場長 コメント>

地域の皆様方との共存を考え、社員一同降下ばいじん対策に取り組んで参りましたが、本年5月、7月、8月に自主管理目標値を超過させてしまい、誠に申し訳ございません。

皆様方にお詫び致しますとともに、神鋼加古川製鉄所と一体となってより一層の改善に努力して参ります。

以上